

天体観測

order point

Villa Stella

設計／矢板久明＋矢板直子 矢板建築設計研究所
所在地／長野県北佐久郡軽井沢町
家族構成／1人
撮影／小川重雄

ゲストとのコミュニケーションを楽しめるよう、LDKはあえてコンパクトに。開口の向こう側にアウトドアリビング、天体観測ドームが見える。

LOOKING AT STARS

自然の中で星空を眺める

都内での勤務を終え、終の住まいを日本有数の別荘地、軽井沢に求めた住み手のKさん。友人たちと一緒に趣味の天体観測を楽しみたい——。天体観測ドームを住まいと共存させるために、建築家の矢板久明さんと直子さんが出した答えとは？

宙に浮いているように設置された、直径約3mのシンボリックな天体観測ドーム。半円形の上部は既製品のため、それに合わせて下部をデザイン。

半屋外の空間が2棟を
緩やかにつなぐ

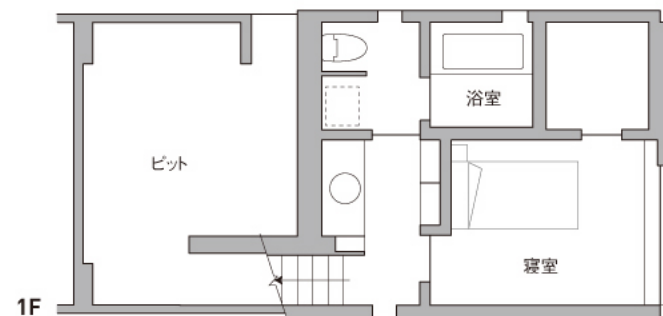
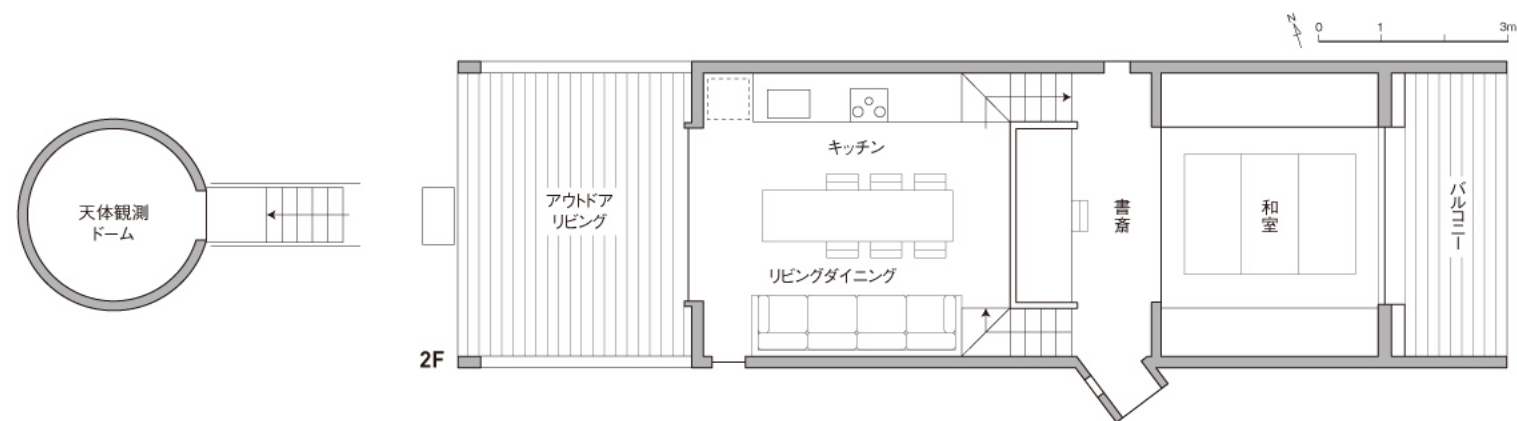
セカンドハウスではなく暮らしを
営む住居に、どのように天体観測ド
ームを組み入れるか……。それが
「Villa Saisei」の設計プランを考える
うえでの課題となった。建築家の矢
板さんは、スケッチブック2冊分の
検証を行い、生活空間とドームのサ
イズのバランス、パソコンの画面で
も望遠鏡で見た星を見られる機能な
どを考慮し、分棟型を採用した。
「ただし、ドームを独立させても趣
味と暮らしが切り離されたくないよう
に考えました」と矢板さん。そこで
アウトドアリビングを設けること
に。Kさんは天体観測をしながら友
人といここで語らい、LDKで食事や
会話を楽しんでいるそう。さらにア
ウトドアリビングとLDKの間はフ
ルオープンで仕切り、LDK
にハイサイドライトを設けるなど、
内外がグラデーションでつながるよ
うに工夫されている。

趣味を楽しむ場としてだけでな
く、住まいとしての心地よさも重視。
軽井沢は涼しいが湿度が高い。風通
しよく窓を配置することはもちろ
ん、壁の内側にも湿気が溜まらない
よう、湿気を逃がしにくい構造用合
板を使わず、壁内の調湿と強度を高
めるために、構造設計家の提案によ
り、独自に開発した木組みを採用し
ている。また、この家では周囲の環
境との調和や調湿のため、外壁も
「下見張り」にしているが、これは湿
度によって伸縮する木の特性を生か
したものだ。

さらに矢板さんはLDK、和室、
アウトドアリビングなど、それぞれ
の空間の縦横比をすべて5対8の黄
金比で構成したという。ひとつのル
ールによって調えられた空間は端正
で美しく、それがこの家で過ごす時
間をより心地よくしている。

設計プランが天体ドームと住まいの心地よい関係をつくる

大きく張り出した庇の下につくら
れたアウトドアリビング。LDKと天
体観測ドームを緩やかにつなぎ、
3つの空間をひと続きにしている。



Data

Villa Stella

- 設計 / 矢板建築設計研究所
- 矢板久明+矢板直子
- 敷地面積 / 1316.10㎡
- 延床面積 / 90.57㎡
- 1階 / 25.99㎡
- 2階 / 64.58㎡
- 家族構成 / 1人
- 所在地 / 長野県北佐久郡軽井沢町
- 用途地域 / 第1種低層住居専用地域
- 構造 / 木造
- 構造設計 / 構造設計社 杉浦克治
- 設備設計 / 島津設計 島津充宏
- 施工 / 丸山工務店
- コーディネイト / ザ・ハウス

Materials

- 外部仕上げ
 - 屋根 / ジンカリウム銅板
 - 自然石粒仕上げ
 - 外壁 / 唐松下見張り
 - オスモントリーカラー塗り
- 内部仕上げ
 - 1階
 - 床 / ヒノキ無垢フローリング
 - 壁・天井 / PB AEP塗装
 - 2階
 - 床 / ヒノキ無垢フローリング
 - 壁・天井 / PB AEP塗装

- 壁・天井 / PB AEP塗装
- 和室
- 床 / 畳一部ヒノキ無垢フローリング
- オスモントリーカラー塗り
- 壁・天井 / PB AEP塗装

Instruments

- 天体観測ドーム / 協栄産業
- 厨房機器 / コンロ・ハーマン
- レンジフード / 富士工業
- 衛生機器 / GROHE CERA
- TOTO
- 備品協力 / WOOD

3 木造らしい切妻のファサード。白い建物が周囲の緑に映える。1階の寝室に設けた、横長の開口がアクセント。
4 2階のテラスがピクチャーウィンドウのように緑豊かな景色を切り取る。近隣の住宅が建っていない方向に開口を配置している。5 出窓からやわらかな自然光を取り込む2階の書斎コーナー。ここからLDKを見下ろすことができる。写真左には構造に使われているオリジナルの木組みが見える。6 2階のLDK。大人数のゲストにも対応できるように大きなテーブルとソファを配置。テーブルとキッチンの無垢の杉板が、ナチュラルな雰囲気をつくっている。



1「下見張り」の柱がアクセントになったアウトドアリビング。LDKとの間に設けられた開口はフルオープンになり、内外がひと続きになる。
2 傾斜地に突き出すように建物を計画。矢板さんが考案したオリジナルの木組により、宙に浮いたような軽やかな外観のフォルムを実現した。

